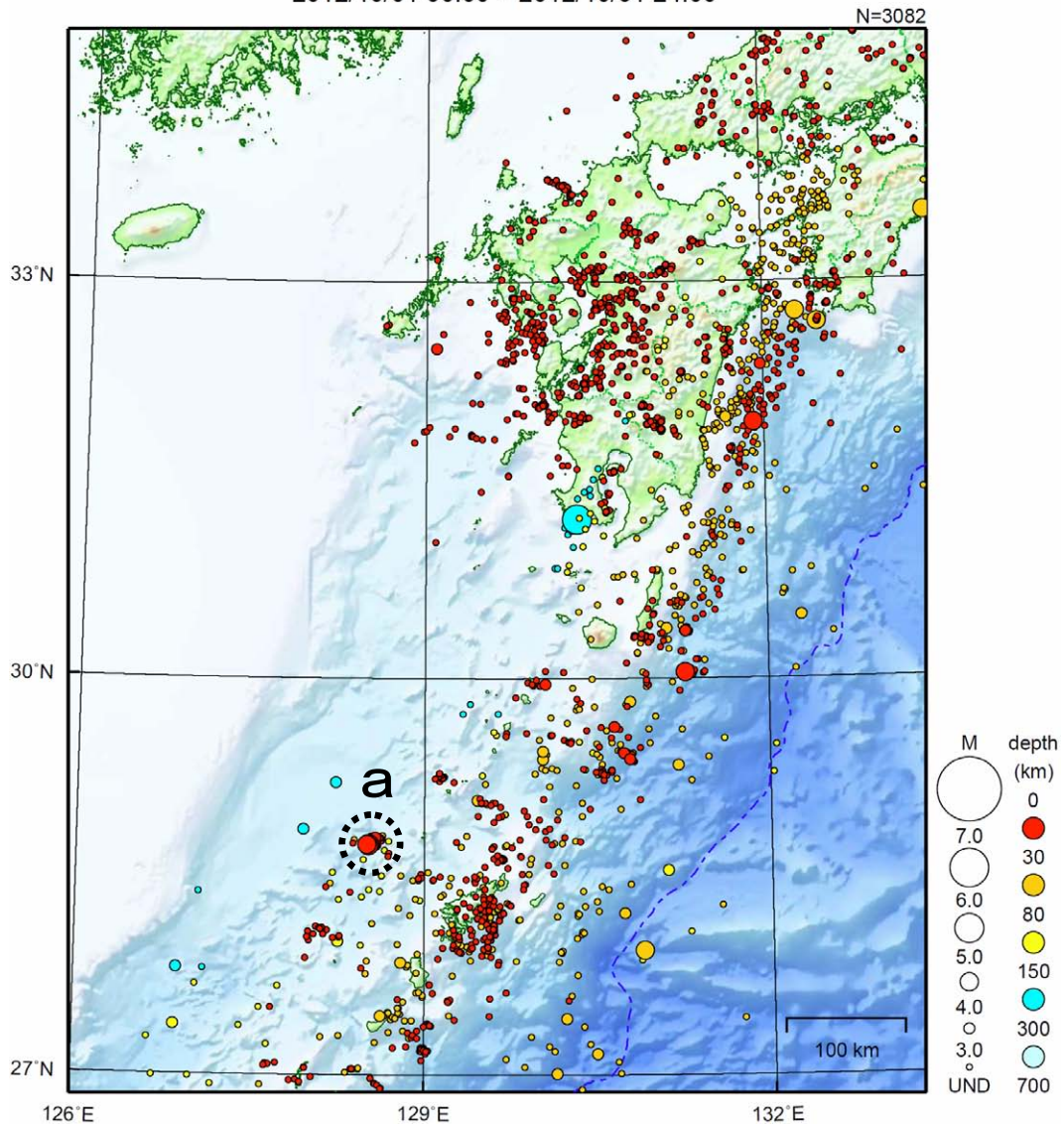


九州地方

2012/10/01 00:00 ~ 2012/10/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

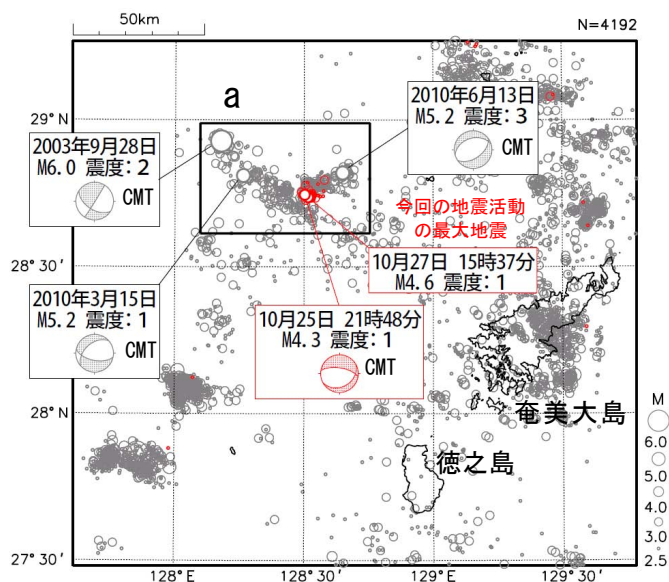
- a) 10 月 25 日 12 時頃から奄美大島北西沖で、27 日の M4.6 の地震（最大震度 1）を最大とする
やや活発な地震活動が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

10月25日からの奄美大島北西沖の地震活動

震央分布図

(1997年10月1日～2012年10月31日、
深さ0～40km、 $M \geq 2.5$)
2012年10月25日以降の地震を赤く表示



2012年10月25日12時頃から奄美大島北西沖で地震活動が活発となった。今回の活動の最大規模の地震は、10月27日15時37分に発生したM4.6の地震（最大震度1）であった。25日21時48分に発生したM4.3の地震の発震機構解（CMT解）は南北方向に張力軸を持つ正断層型である。10月31日現在、活動は徐々に減衰してきている。

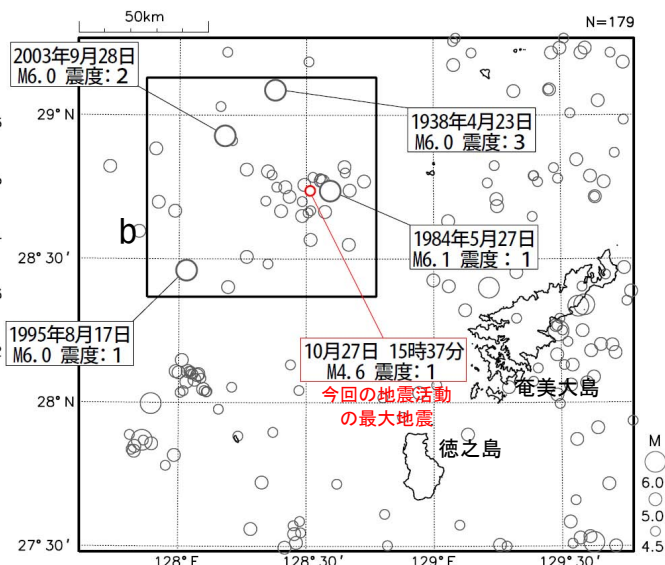
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域a）では、2003年に9月28日のM6.0の地震、2010年に3月15日及び6月13日のM5.2の地震を最大規模としたまとまった地震活動が発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震活動の周辺（領域b）では、M6.0を超える地震が4回発生している。

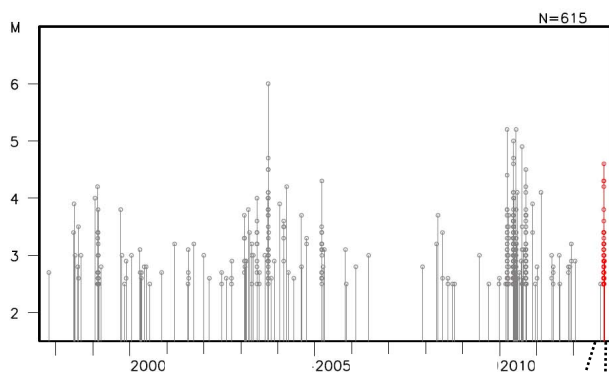
震央分布図

(1923年1月1日～2012年10月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)
2012年10月25日以降の地震を赤く表示

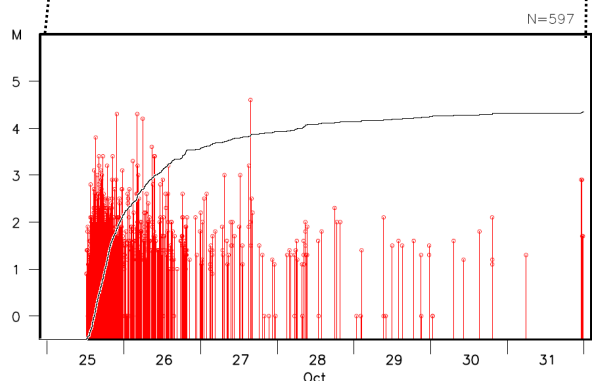
※領域b内のM6.0以上の地震と今回の地震に吹き出しをつけた



領域a内のM-T図



領域a内のM-T図
(2012年10月25日～31日、
深さ0～40km、Mすべて)



領域b内のM-T図

